

創薬ベンチャーエコシステム強化事業

Strengthening Program for Pharmaceutical Startup Ecosystem



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development



Contents

- p. 2 事業概要
- p. 4 ベンチャーキャピタルの認定
- p. 5 認定ベンチャーキャピタル一覧
- p. 6 創薬ベンチャー公募
- p. 7 採択課題一覧
- p. 9 応募に関する個別相談

創薬ベンチャーエコシステム強化事業

事業概要

近年の新薬の大半は創薬ベンチャーが開発したものであり、今般のパンデミックに際していち早くワクチン開発に成功したのも創薬ベンチャーです。新薬の開発には多額の資金を要しますが、我が国の創薬ベンチャーエコシステムでは、欧米等と比較しても、必要な開発資金を円滑に確保しづらいのが現状です。

このような状況を受け、令和3年6月に閣議決定された「ワクチン開発・生産体制強化戦略」のもと、感染症のワクチン・治療薬に関連する技術の実用化開発を行う創薬ベンチャー企業を支援する目的で本事業が創設されました。さらに、令和4年10月には「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」の実施についての総合経済対策の重点事項において、本事業について「今後、支援対象を感染症関連以外で資金調達が困難な創薬分野にも広げる方向で、支援を強化する」旨が盛り込まれました。

本事業では、大規模な開発資金の供給源不足を解消するため、創薬に特化したハンズオンによる事業化サポートを行うベンチャーキャピタル(VC)を認定し、その認定したVC(以下「認定VC」という。)による出資を要件として、非臨床試験、第1相臨床試験、第2相臨床試験もしくは探索的臨床試験の開発段階にある創薬ベンチャーが実施する実用化開発を支援し、日本の創薬ベンチャーエコシステムの底上げを図ります。特に、創薬ベンチャーの十分な売上や成長を図るべく、日本に加えて海外市場での事業化を行う計画についても積極的に支援します。

プログラムスーパーバイザー(PS)



元 日本製薬工業協会
医薬品評価委員会
運営委員会幹事

稲垣 治

プログラムオフィサー(PO)



ガラス合同会社
代表

橋本 千香



公益財団法人
先進医薬研究振興財団
理事長 薬学博士

林 義治

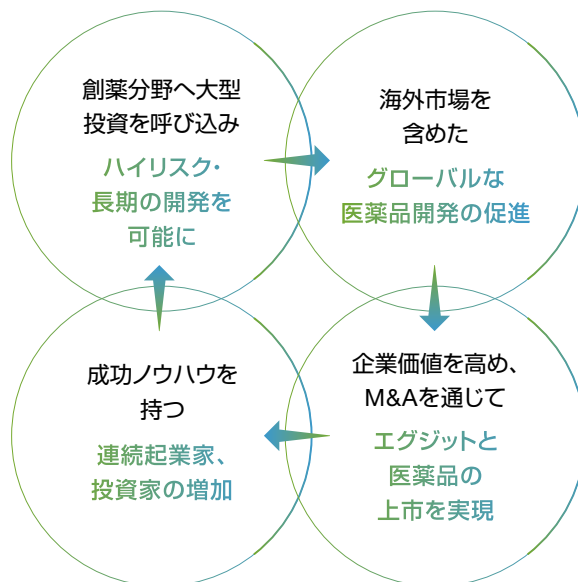


Newton Biocapital Partners
合同会社
最高薬事開発責任者
MD & PhD

和田 道彦

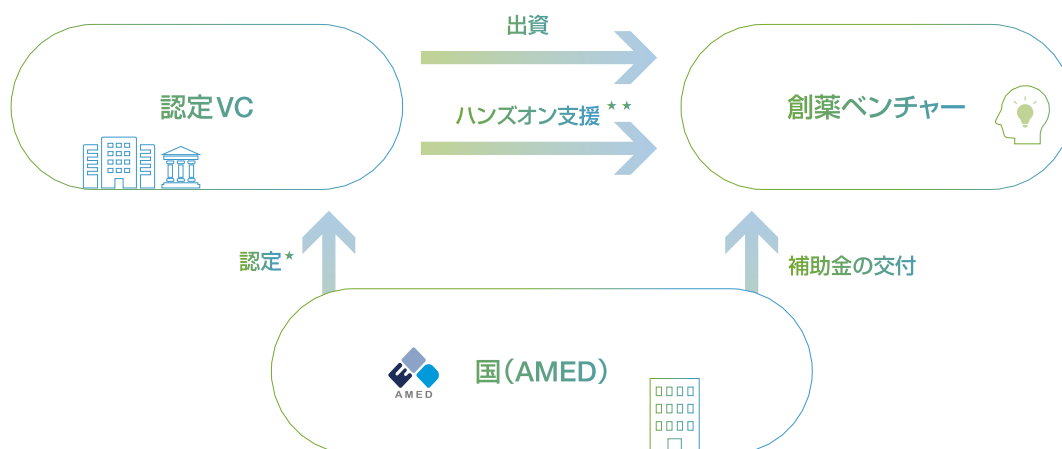
事業目標

日本における創業ベンチャーエコシステムの強化のため、1つでも多くのグローバル基準の成功事例をつくることで、右図のような相乗効果による好循環をつくることを目標としております。



事業スキーム

本事業は、認定VCが補助対象経費の1/3以上を出資することを要件として、創業ベンチャーが行う医薬品の実用化開発にAMEDが補助金を交付する事業です。本事業では、AMEDが認定するVCの公募(①VC公募)と、認定VCの出資を受ける創業ベンチャーが行う医薬品の実用化開発課題の公募(②創業ベンチャー公募)の、2段階の公募を行います。



★ 認定 創業分野への出資や支援の実績などを持つVCを認定

★★ ハンズオン支援 創業ベンチャーの成長段階に応じた、経営、開発・技術、薬事の観点での支援など

ベンチャーキャピタルの認定

認定VCに求められること

- リード投資家として、支援ベンチャーに対して初回投資から補助事業終了までの間に10億円以上の投資を行うこと
- 補助事業期間中は一貫してリード投資家として支援ベンチャーを支援すること
本事業における「リード」の定義は、原則として本事業の対象期間中の出資額が最大の出資者であり、資金調達やハンズオンを主導する役割を果たす者としてします。

認定期間

- 認定日から2事業年度(最長で本事業が終了する事業年度末まで)
- 2事業年度ごとに更新評価を行って認定更新の可否を判断。更新回数の制限なし。

評価項目

- 事業目的との適合性 ■ 資金調達への対応力 ■ ソーシング能力 ■ ハンズオン能力

必須要件

- ① 直近5年間でVCとしての全投資金額のうち、1/3以上を創薬分野に投資していること
(創薬分野への出資を行うことに特化したファンドを保有している場合や、評価項目において、創薬ベンチャーに対して特に質の高い支援が可能と評価された場合には、①を満たしていなくとも審査の対象とする。)
- ② リードVCとして、投資先の創薬ベンチャーが行う治験を支援した実績があること
(VCまたはファンドを新規に設立した場合、②の要件については所属する個人^{※1}の過去の実績に鑑みて、審査の対象とすることがある。)
- ③ リードVCとして、投資先の創薬ベンチャーに取締役を派遣した実績があること
(VCまたはファンドを新規に設立した場合、③の要件については所属する個人^{※1}の過去の実績に鑑みて、審査の対象とすることがある。)
- ④ 投資の意思決定を行うメンバー^{※2}または、ハンズオンを行うメンバーであり投資の意思決定に対し専門的な助言を行うメンバーに、製薬企業等において医薬品開発を行った経験(薬事・BD(事業開発)・開発企画等)を有する人材、または医薬品開発を進める上で重要な経験(PMDA、FDA等の機関における審査等)を有する人材がいること
- ⑤ 投資の意思決定を行うメンバー^{※2}または、ハンズオンを行うメンバーであり投資の意思決定に対し専門的な助言を行うメンバーに、グローバルでの医薬品開発に携わった経験(グローバルでの治験を行った経験、グローバルでの治験をハンズオン支援した経験等)を有する人材がいること

※1 投資の意思決定を行うメンバーまたは、ハンズオンを行うメンバーであり投資の意思決定に対し専門的な助言を行うメンバー

※2 ジェネラル・パートナー、パートナー等

今後の公募予定

年数回 定期的に実施予定

※最新の公募要領をご確認ください。

認定ベンチャーキャピタル一覧

(2026年8月現在)

認定ベンチャーキャピタル

4BIO Partners LLP
 Angel Bridge株式会社
 ANRI株式会社
 ANV Management, LLC
 Astellas Venture Management LLC
 B Capital Group Management, L.P.
 Beyond Next Ventures株式会社
 Blackstone Life Sciences
 Catalys Pacific, LLC
 Cure Ventures Management, LP
 Curie Bio Operations, LLC
 D3LLC (D3合同会社)
 DBJキャピタル株式会社
 DCIパートナーズ株式会社
 Deerfield Management Company, L.P.
 Eight Roads Ventures Japan (Eight Roads Capital Advisor Hong Kong Limited)
 EQT Life Sciences
 F-Prime Capital Partners (Impresa Management LLC)
 JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社
 Mission BioCapital
 Newton Biocapital Partners
 RA Capital Management, L.P.
 Remiges Ventures, Inc. / RDiscovery株式会社
 Saisei Ventures LLC
 SV Health Managers LLP
 Taiho Ventures, LLC
 The Column Group LLC
 TPG Life Sciences Innovations (TPG Global, LLC)
 大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社
 京都大学イノベーションキャピタル株式会社
 株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ (KII)
 ジャフコ グループ株式会社
 大鵬イノベーションズ合同会社
 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTEC)
 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
 株式会社ファストトラックイニシアティブ
 三菱UFJキャピタル株式会社
 みやこキャピタル株式会社

最新の認定ベンチャーキャピタル紹介



創薬ベンチャー公募

公募対象

分野	補助対象経費の規模 (間接経費および認定VC出資分含む)	補助事業期間
#1 感染症のワクチン・治療薬の開発のための革新的な技術開発	1 課題当たり総額100億円まで (上限を超える提案も可能)	最長令和13年9月まで (課題ごとに設定)
#2 感染症以外の疾患に対する医薬品等の開発のための革新的な技術開発	AMEDは補助対象経費の 2/3を上限に補助金を交付	

- 認定VC(リードを必ず含むこと) から補助対象経費の 1/3 以上の金額の出資を受けていること、または、今後出資を受けることが決定していることが必要です。
- 非臨床試験、第1相臨床試験、第2相臨床試験もしくは探索的臨床試験の開発段階にある、1つのパイプラインの開発を支援します。
- 「医薬品等」には医薬品および再生医療等製品が含まれます。
- 開発候補品に関して国内および海外に特許を出願していることが必要です。ただし、戦略上の理由で応募時に申請していない場合は、その戦略(開発戦略、知財戦略、事業戦略、薬事戦略等)の詳細を提案書に記載してください。
- 最終開発候補品が定まっていない場合、最終開発候補品を決定するための非臨床試験を行う提案も受け付けます。
- 補助事業期間について、補助事業計画書で設定する全てのステージゲート評価を通過することを前提に、最長令和13年9月まで補助事業を実施することができます。

本事業での達成目標(ゴール)

- 第2相臨床試験・探索的臨床試験の終了(POCの取得)
- 補助事業期間の途中でIPO、M&Aを行った場合は原則として早期終了

審査項目

- 事業趣旨との整合性
- 技術の優位性・有効性など
- 開発目標・開発計画
- 事業計画(ビジネスプラン)
- 認定VCによる支援計画

今後の公募予定

年数回 定期的に実施予定

※最新の公募要領をご確認ください。

採 択 課 題 一 覧

(2026年8月現在)

採択年度	研究開発課題名	研究開発代表機関
2022年度	病原性CUGリピートRNAを標的とする塩基配列特異的RNA結合蛋白質による筋強直性ジストロフィー 1 型に対する革新的治療薬の開発	エディットフォース株式会社
2023年度	ヒトiPS細胞由来心筋細胞製剤 OZTx-556の重症心不全患者を対象としたグローバル試験による Proof of Concept (PoC) 検証	オリヅルセラピューティクス株式会社
2023年度	視覚再生遺伝子治療薬のグローバル第2相臨床試験におけるPOC取得	株式会社レストアビジョン
2023年度	治療抵抗性転移再発HER2 陰性乳癌に対する新規治療法の開発	ペリオセラピア株式会社
2023年度	K _{ATP} チャンネル阻害作用を有する低分子アルツハイマー型認知症治療薬NTX-083の開発	Neusignal Therapeutics 株式会社
2023年度	ミトコンドリア置換自己T細胞製剤によるがん治療薬の研究開発	イメル創薬株式会社
2023年度	GPC3発現固形がんを対象とした低免疫原性同種iPS細胞由来細胞傷害性T細胞療法の開発	シノビ・セラピューティクス株式会社
2023年度	腫瘍内のM2 様マクロファージに選択的なナノ粒子ドラッグデリバリーシステムに搭載したTLR 刺激薬による新規がん免疫療法の開発	ユナイテッド・イミュニティ株式会社
2024年度	低活動膀胱を対象とした低分子医薬品SFG-02の開発	Juro Sciences 株式会社
2024年度	全身性強皮症に伴う難治性皮膚潰瘍に対する血管内皮幹細胞を用いた新規細胞治療薬の開発	リバスキュラーバイオ株式会社
2024年度	先天性無歯症患者の欠如歯を再生する新規抗体医薬品の開発	トレジェムバイオフーマ株式会社
2024年度	ヒト脂肪細胞由来血小板様細胞(ASCL-PLC)の難治皮膚潰瘍治療に対する他家(同種)再生医療等製品としての開発	株式会社AdipoSeeds
2024年度	潰瘍性大腸炎治療薬MGT-006の開発	メタジェンセラピューティクス株式会社
2024年度	新規経口脂質代謝制御剤PRD001の脂質代謝異常症に対するPOC取得	PRD Therapeutics 株式会社
2024年度	GD2 陽性の難治性固形癌に対するGITRL を組み込んだ自家由来の新規CAR-T 細胞療法の研究開発	ティーセルヌーヴォー株式会社
2024年度	自己免疫性疾患等に対する抗原特異的な免疫細胞療法の開発	レグセル株式会社
2024年度	小児希少血液疾患に対する新規ex vivo増幅造血幹細胞治療製品の開発	セレイドセラピューティクス株式会社
2024年度	重篤な遺伝子疾患に対する、mRNAを使用したGene Writingによる遺伝子治療パイプラインの開発	タイプライターTX合同会社
2024年度	自己免疫疾患を対象としたCD19CAR導入低免疫原性同種iPS細胞由来ナチュラルキラー細胞療法の開発	シノビ・セラピューティクス株式会社
2024年度	免疫療法抵抗性固形がんのための腫瘍組織特異的pH 応答性IL-12 内包高分子ミセルの開発	Red Arrow Therapeutics 株式会社
2024年度	神経変性疾患の治療を目的とした新規遺伝子治療薬の開発	reverSASP Therapeutics 株式会社
2024年度	アミノ酸トランスポーターのロッキング阻害による革新的な新規抗がん剤の開発	Atransen Pharma 株式会社
2024年度	膀胱癌、膵癌、胃癌、大腸癌を含むルミナル癌に対する治療を目的としたファーストインクラス経口型低分子薬の研究開発	CORE Biomedicine Japan 合同会社

採択年度	研究開発課題名	研究開発代表機関
2024年度	再発性膠芽腫の腫瘍細胞及び腫瘍微小環境を標的とする抗FAPa CAR-T細胞の開発	オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社
2024年度	固形がんを高発現するGPCR を標的とした抗体・薬物複合体(ADC)による新規がん治療薬の開発	リベロセラ株式会社
2025年度	緑膿菌肺炎感染症に対するバクテリオファージカクテルARW001の開発	株式会社 Arrowsmith
2025年度	CD19・CD20陽性の再発・難治性B細胞悪性リンパ腫に対する二重特異性他家CAR-T細胞療法の臨床開発	AvenCell Japan 株式会社
2025年度	CRISPR-Cas3 ゲノム編集技術を用いた原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植治療法の開発	C4U 株式会社
2025年度	新規メカニズムを用いたフェロトシス誘導性抗がん剤の開発	株式会社 FerroptoCure
2025年度	新規悪液質治療薬TSP-101の開発	テンセグリティファーマ株式会社
2025年度	ヒトiPS細胞由来ネフロン前駆細胞を用いた慢性腎臓病に対する細胞療法の開発	リジェネフロ株式会社
2025年度	潰瘍性大腸炎の病原性自己抗体を産生するB細胞を傷害除去する二重特異性バイオ医薬品の開発	Link Therapeutics 株式会社
2025年度	β グロビン異常症に対する新規治療薬としての低分子医薬の開発と事業化	EpiFrontier Therapeutics 合同会社
2025年度	浸潤・転移を伴う難治性がんに対する革新的な免疫遺伝子搭載・腫瘍溶解性ウイルス、Surv.m-CRA-2-IC の開発	サーブ・バイオフーマ株式会社
2025年度	慢性肝不全急性増悪に対するヒトiPS細胞由来肝芽細胞を駆使した新規治療法の開発	株式会社 センノ・セラピューティクス
2025年度	標準治療抵抗性自己免疫疾患に対する疾患特異的制御性T細胞療法の開発	レグセル株式会社
2025年度	末梢神経障害および神経障害性疼痛に対する新規低分子医薬品の開発	サノダインセラピューティクス株式会社
2025年度	難治性固形がんに対するin vivo CAR- マクロファージ療法の開発	ユナイテッド・イミュニティ株式会社
2026年度	ALS病因であるミスフォールディング蛋白質TDP-43の構造・機能回復を実現する遺伝子治療薬(SOL-257)の開発・事業化	合同会社 SOLA Biosciences Japan
2026年度	ダニアレルギー性鼻炎に対する次世代TLR4アゴニストHSO-001を用いる新規舌下免疫療法の開発	HISHOH Biopharma 株式会社
2026年度	シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状改善を目的とした新規低分子治療薬の開発と事業化	アクエリスセラピューティクス・ジャパン株式会社
2026年度	成長ホルモン分泌不全性低身長症を対象とした経口SSTR5 アンタゴニストSCO-240の開発	株式会社 スコヒアファーマ
2026年度	抗菌薬治療後に再発しやすい腸管感染症であるClostridioides difficile 感染症に対する経口型遺伝子組換えIgA抗体の研究開発	イグアルファン株式会社

本事業の目標を達成した採択課題

支援期間	研究開発課題名	研究開発代表機関	成果
2024年度～2025年度	多発性硬化症に対する新規LAT1阻害剤の開発	ジェイファーマ株式会社	IPO



応募に関する個別相談

応募に関する面談でのお問合せ(個別相談)を以下のとおりお受けいたします。

なお、公募期間中の個別相談は行いません。

- 対象者:本事業に応募を考えているVCや創薬ベンチャー企業の方
- 相談の流れ:E-mailで下記アドレスに相談事項を記載のうえ、お申し込みください。
本文内に回答先(法人名、担当者のお名前・電話番号・E-mailアドレス)を明記してください。
担当者から相談日時をご連絡いたします。相談内容の守秘義務を遵守いたします。
- 実施形態:オンライン(Web会議)あるいは対面での面談

お問合せ先

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
創薬エコシステム推進事業部 創薬エコシステム推進事業課
創薬ベンチャーエコシステム強化事業 担当
E-mail: v-eco "AT" amed.go.jp

※ "AT" の部分を@に変えてください。



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

創薬ベンチャーエコシステム強化事業
創薬エコシステム推進事業部
創薬エコシステム推進事業課

<https://www.amed.go.jp/program/list/19/02/005.html>



AMED



<https://www.amed.go.jp>

2026年8月